

郷音

こごね

東京福社会だより

第83号(通刊106号)平成30年9月発行

「響」とは「郷」の「音」と書きます。私ども東京福社会では、この温かなものを大切に「心に響く葬儀」を目指しております。



高尾山薬王院山門

今号の
エッセイ

「思い出の中にパパはいる」

女優 小山 明子さん

まもなく創立100周年 ～会友制度について～

平成30年度下半期(10月～3月)行事予定／東京福社会のグリーンケア`わ`の会
東京福社会からのお知らせ

東京福社会だより(響)は、個人・団体会友や当会をご利用いただいた皆様をはじめ、都内の各福祉事務所・施設などにお届けしております。

大正8年創立



社会福祉法人 **東京福社会**

想い出の中に パパはいる

女優 小山 明子

大島が脳出血で倒れたのは1996年2月ロンドンで、空港に移動する車の中だった。

その年の1月次男が結婚、私達家族は幸せの絶頂にいた。

その一ヶ月後の知らせ、禍福はあざなえる縄のごとし。なんと言うことか。

イギリスの病院に三週間入院、私は何も手につかず。決まっていたテレビの二時間ドラマも降板することに。

マスコミが大騒ぎで、家に押しかけたこともあったが、大島は右半身不随と言語障害が残り日本の病院に転院。私はうつ病で同じ病院の精神科に入院する始末だった。

やっと退院して、病気の夫とリハビリに週四日通い、三食の献立を考えなければならず、一からの勉強となった。なにしろ主婦は初めてだから、三十年も住み込みのおばちゃんのおかげでなんとかクリアしたものの、私は眠れない食べられないで体重がどんどん落ち、うつ病が又ぶり返し入院を四年もの間一ヶ月ずつくり返した。

大島は不屈の精神力でみるみる回復し、リハビリも誰よりも頑張って社会復帰を果たし、映画「御法度」を撮ることが出来た。

私がうつを抜け出したのは、大島のリハビリに付き添いで行ったとき、見知らぬ女性が私に「あそこにいるのは大島渚よ」と教えてくれた時だ。啞然とする私に彼女はいる話しかけてくれたが、恥ずかしくて何も言えなかった。

家に帰って鏡を見たら、どこの老婆かと思うほど、しわしわで白髪で見える影もない自分がいて愕然とした。それから水泳教室や料理学校に通い自分を取り戻し、うつ病も卒業出来た。

大島も不自由ながら映画も撮れカンヌ映画祭に出席するほど元気だったが、2001年の秋、再び病に倒れた。好事魔多し。

十二指腸潰瘍穿孔で生死の境をさまよい、奇跡的に生きのびた。五ヶ月の入院の後、介護度5、家に連れて帰り、介護用ベッドを入れ、本格的な介護が始まった、十一年間在宅で看ることとなる。

最初は生きることと精一杯、でも十年生きるかもしれないし、明日死ぬかもしれないと云う先の見えない病気で、とにかく今日一日を大事にしようと心に誓った。

うつの間は夫の病気ときちんと向き合えなかった。料理も出来ない、家事も駄目とお

ちこんでいたが、うつを卒業して考え方が変わった。

どうすれば病人が気持ちよく一日を過ごせるか、ケアマネージャーさんと相談して介護用品を揃え、スケジュール表を作って家に理学療法士さんに来てもらったり、週一回の訪問入浴や、老健施設のわかば苑からお迎えの車が来て、食事やリハビリ、入浴と変化をつけて生活できるようになる。

そして私も、泳ぎに行ったり友達と食事に行ったりと、病人と向き合うだけでなく自分の時間も楽しめるようになった。

その時（二十年前）に始めた水泳教室に今も通っているし、発声も友達と始めた麻雀も続いている、継続は力なりである。

又、家族がなるべく休日に家に（一人だった孫が、五人にふえたし）集まることに、気分がいいときはみんなで食事に行ったり、想い出をいっぱい作るうと心がけた。

孫が、自分の誕生日に回転ずしに行きたいと云いだし、息子が大島渚の美学に反すると反対したので、押し切って出かけた。

世間が何と云おうと、もう私は世間のために生きないと決めた。落ちぶれて、こんなところにと

思ったらそれでいい。私は女優を手放し、普通の人間として生きたいと強く思った。そしてそれはとても楽しく、私達夫婦にとっては初めての経験だったが、いい思い出になった。春には花見を、季節ごとに外出したり。最後まで人間らしく、こんな身体になって生きていたくないと、少しでも思わないように、ユーモアのある暮らしを心がけた。

後悔しない生き方をしようと決めてから、出来ることはすべて挑戦、京都に行きたいと云いだした時は何ヶ月もかかって準備し、大学の同窓会、芳伍会に夫を連れて行った。成せば成るである。

「大島来年も会おうな」と云って下さったがその望みは叶わなかった。それから一年、集中治療室の個室に入り、酸素吸入がとれて気分がよさそうな日に、一時間昔語りをして、神様が最後のお願いを聞いてくれるなら、パパはどうしたい？家に帰りたいか、美味しいもの食べたいか、お酒が飲みたいか、夫は飲みたいと云った。

それから、いのちの終わりまで、毎日お酒をくちびるに、ちよんちよんしてあげて、私のこと好きなら、パパ、手を握ってと言ったら、右手はマヒで動かなかったが、左手で

ギュギュッと二回、うれしかった、私の気持ちを通じた。夫が旅立つてから、来年七回忌となる。

大島の葬儀は、彼のために盛大に、築地本願寺でとりおこなった。

お香典は頂かなかったが、お花はたくさん頂き、はなやかな通夜、葬儀となった。そのために、お金は惜しまなかった。皆さんにとっても心に残る葬儀と云われて満足だった。

出棺のとき戦場のメリークリスマスが流れ、皆さん映画監督の大島をしのび、見送ってくれた。

そして私の葬儀は、今流行の家族葬ではなく、友達を呼んで、きちんとやってほしい。何しろフルトやジャズに行く仲間、ヨガに水泳、発声に麻雀と友達がたくさんいる。

お金は残さないけど、想い出は残したい。五人の孫達と毎年一人ずつ、その子の希望の場所に旅行に行くことにしている。孫と二人旅、どんな、おばあちゃんだったか彼等の心に想い出として残したい。

いつ大島が迎えに来てもいいように、悔いなく生きたい。通夜は、麻雀をみんなでやってねとお願ひしてある。明るく見送ってもらいたい。

毎朝、仏前にごはんを供えて話しかける。亡き夫は、いつまでも心の

中に生きている。大島渚あってこそ、今の私は生きている。いつもパパのおかげですと、感謝をこめて。パパがよるこんでくれたこと、楽しかったこと、一生懸命お世話したこと。それは、結局自分のためだったのだ。

介護を通して、いのちの大切さ、人さまのやさしさ、ありがとうのうれしい言葉。長い介護生活だったが、今、それは私の宝もの。

そして、人さまのお役に立つ生き方もしたい。東日本大震災後、大熊中学の子供達に図書を毎年贈り、仮設住宅の方達ともつながって支援活動を続けている。

私達は皆さんのこと忘れないと、メッセージを送り続けている。

今年も鎌倉建長寺に、未来連福の会の方達と共に、福島のみなさん百名を三泊四日でお迎える。私もささやかながら、毎年ボランティアとして参加させて頂いている。

2013年から続いているが、人はみんな心の中では、誰かの役に立ちたいと思っていると思う。

そして、カキケココを忘れずに。感謝、興味、工夫、健康、好奇心、転ばない。ありがとうは魔法の言葉、転ばないは、私自身の体験から。昨年は、6月にレストラン

の段差につまずき左手首骨折、今年6月、自宅の階段を三段ふみはずしてお尻と左足親指骨折、なんと友人二人は背骨の手術で入院。転倒し骨折につながる年代だと痛感した。

息子達には、私が認知症になったら施設に、あんた誰？と私が言っかねと、お願いしてある。好きな花、ついでにチヨコレートも。

長い間、パパを看とったので、私はピンピンコロリを望んでいる。さて、うまくゆくかどうか神のみぞ知るである。

PROFILE

小山 明子 (こやま あきこ)

1935年、千葉県生まれ。女優。

55年、「ママ横をむいてて」で女優デビュー。60年、映画監督の大島渚氏と結婚。96年に大島氏が脳出血で倒れ、介護の日々が始まる。現在は、介護に関する講演活動なども行っている。著書に『いのち、輝く!?もう一度メガホンを?大島渚を支えた介護の日々』『パパはマイナス50点』、野坂暘子さんとの対談集『笑顔の介護力』など。2008年、『パパはマイナス50点』で日本文芸大賞エッセイ賞受賞。



まもなく創立 100周年

～会友制度について～

東京福祉会は、大正8年に「財団法人助葬会」として発足してから、まもなく100周年を迎えようとしています。

創立者渡邊竹次郎は、油問屋として家業に精を出すかたわら「慈悲深い人」としても知られ、救いを求めてくる貧困者に対し、惜しみない手助けをしていました。

その中で、巷に溢れる「生命のほか、失うべき何物もない」窮民の姿に、一個人の慈善行為では限りがあると感じ、「貧困者助葬」の事業を立ち上げました。

軌道に乗るまでには、大震災や大空襲など、存続が危ぶまれるような天災・人災にも見舞われましたが、その一つ一つを全員の努力で乗り換え、今日へと至っています。



創立者 渡邊竹次郎



会友制度の相互扶助精神

会友制度は、助葬事業を支え、そして団体のさらなる発展のために、昭和55年に発足しました。

この制度は『東京福祉会を利用することで、間接的に助葬事業の運営向上の手助けをしていただく。その代わりに東京福祉会は、低廉にして誠心誠意、良心的な葬儀を行い、加入者の精神的・経済的不安が軽くなるよう努める』という、「相互扶助」の精神に基づいて誕生したもので

なのです。

事前のご相談等で「なぜ加入金だけで割引などをしてくれるのか？」という質問を時折お受けしますが、その答えがここにあります。

なお、いただいた加入金は「社会福祉事業基金」に積み立てられ、助葬事業を始めとした社会福祉事業の運営に役立てられています。

会友Bプラン

会友制度Bプランは、加入金とし

て一万円を頂き、万が一の時には皆様の負担が軽くなるような特典を多数ご利用いただけます。

現在Aプランにご加入いただいている皆様にも、是非Bプランへのお切替えをお勧めいたします(切り替えの際は、加入金は九千円となります)。

またご加入の際は、是非ご家族の皆様にもそのことをお伝えください。ご家族が知らなかったために、ご利用いただけなかったという例もございます。

ご家族の方々にお持ちいただく「家族カード」もお送りしておりますので、ご入用の方は渉外部までお知らせください。

100周年という節目に当たり、改めて制度の基本である『助け合う心』に立ち返り、『その人らしい、尊厳ある葬儀』を常に意識しながら、この先の100年に向けてご奉仕してまいりたいと思えます。

創立100周年記念 カウントダウンキャンペーン

2019年11月に100周年を迎えることを記念して、ご加入いただいた方にプレゼントを差し上げるキャンペーンを実施いたします。

このキャンペーンは、「ご紹介制度(紹介者と新規加入者双方にQUOカード進呈)」と併用も可能です。また、Aプランからの切り替えの方も対象となります。この機会に、是非会友Bプランにご加入又はご勧誘ください。

期間

2018年 2019年
11月1日(木)～3月31日(日)(消印有効)

上記期間中にご加入いただいた方に、プレゼントを進呈いたします。下記3点から1つお選びください。
(3点とも、三越伊勢丹より発送されます)

1. スイーツアソート (洋菓子)〈Fika〉

三越伊勢丹でしか購入できない、
北欧の伝統菓子セットです。



2. レトルトスープ詰合せ 〈帝国ホテル〉

コーンクリーム、野菜、トマトの三種類。
素材の持ち味を生かした伝統の味わいです



3. タオルセット 〈ロイヤルコペンハーゲン〉

陶磁器の名門、ロイヤルコペンハーゲンの
伝統モチーフに彩られた、エレガントな
デザインのタオルセットです。



【会友Bプランお申込み方法】

ホームページ又はお電話にて会友加入案内をご請求ください。後日、振込用紙をお送りいたしますので、郵便局より加入金のお振込みをお願いいたします。各直営斎場でも、お申し込みを承ります。その際は印鑑をご持参ください。

【キャンペーンお問い合わせ先】

東京福祉会 渉外部 0120-00-5677
<https://www.fukushikai.com/contact>

会友Bプラン 加入金10,000円

安心をお届けする10の特典

- ①基本葬祭料金30%割引
- ②生花10%割引
- ③生花1基サービス
- ④直営斎場利用料50%割引
- ⑤貸し式場利用料10%補填(上限30,000円)
- ⑥ご葬儀後、花と緑のギフト券10,000円進呈
- ⑦オプション品10,000円割引(門灯セット、エンバーミング、湯かん、受付テント)
- ⑧エンディングノート進呈
- ⑨くらしの学習講座(平成30年度は写経教室)
- ⑩相続税相談、遺品整理業者の優待利用

※④と⑤はいずれか一方の適用となります。
また、「ご火葬のみプラン」「仏式金欄三段飾り」をご利用の場合は、適用外となる特典があります。

〈会友案内の変遷〉

初代会友案内



Bプラン発足時
会友案内



現在の会友案内



平成30年度下半期(10月～3月) 行事予定

展示相談会
(秋季及び春季彼岸会 同時開催)

秋季・春季の彼岸会法要に合わせて、展示相談会と終活セミナーを開催いたします。

白木祭壇と花祭壇の違いや、会葬御礼品、お仏壇など、普段じっくり見る機会のない品々を自由にご見学いただけます。

是非この機会に、お気軽にお立ち寄りください。ご葬儀に関するご質問やご相談も随時承ります。

■開催場所／江古田斎場
■時間／9:00～15:00

開催区分	開催日
秋季彼岸会・展示会	9月21日(金)
	9月22日(土)
	9月23日(日)

開催区分	開催日
春季彼岸会・展示会	H31年3月20日(水)
	H31年3月21日(木)
	H31年3月22日(金)

終活セミナー

「エンディングノートの活用と最近の葬儀事情」
①12:00～12:40
②15:00～15:40

※終活セミナーは彼岸会・展示会期間中、一日2回行います。
※3月開催予定のセミナーテーマは変更となる場合があります。
詳しくは、江古田斎場(電話0120-62-1192)までお問い合わせください。

「写経教室」 くらしの学習講座

(会友Bプランご加入の皆様限定)

東京福祉会では、今年度も「くらしの学習講座・写経教室」を開催いたします。

写経をすることは、私たちが仏の教えの中に入ることです。言い換えれば、心豊かな生活を送るための大切な修行と言えます。
当日は正しい作法での写経をお伝えいたします。



くらしの学習講座「写経教室」

- 開催場所／江古田斎場
- 時間／10:00～12:00
- 定員／各日先着30名
- 費用／無料
- 〆切／各開催日の3日前

※定員になり次第、締切とさせていただきます。

開催日
H31年1月26日(土)
H31年2月24日(日)

・お持ちいただくもの…小筆、硯、墨(墨汁可)、下敷き、文鎮
※当日、道具の販売もあります。数に限りがございます。なるべく道具はご持参ください。
なお、筆や硯の代わりに筆ペンでもご参加いただけます。

人形・ぬいぐるみ供養

お子様の成長を見守ってきたお雛様や五月人形、「ともだち」としていつも一緒に過ごしてきたぬいぐるみ…大切に生きてきた想いの詰まったお人形を、感謝の気持ちを込めてご供養しませんか。

「人形・ぬいぐるみ供養」では、役目を終えたお人形に感謝を込め、読経供養を行います。

お預かり方法については、次号(1月下旬発行)にてご案内します。



■開催場所／江古田斎場

開催日時 H31年3月2日(土)11:00～

東京福祉会のグリーンケア「わ」の会

●「わ」の会とは

東京福祉会のグリーンケア「わ」の会」は、葬儀を終えられた方々が経験される、『大切な方との死別によって生じる強い悲しみや悲嘆（グリーフ）を少しでも癒していたいただきたいとの想いで、平成19年にスタートしました。

「わ」の会は次の3つの「わ」の総称として名付けて、その想いを込めて活動しております。

【和】悲しみや怒りなど様々な感情を癒し、少しでも和んでいただきたい

【話】誰にも話せない気持ちを話すことで、想いを共感しながら癒していただきたい

【輪】悲しみや怒りなど様々な体験談を当機関紙にお寄せいただき、「わ」の会」に参加出来ない方への想いを繋いでいきたい…

悲嘆が癒され、無事この「わ」

の会が不要なものになることを、当会では「卒業」と呼んでおります。

今までに約1000名を超える方々が参加され、多くの皆様が「卒業」されました。

●「わ」の会の活動内容

《参加方法》

当会にて葬儀を終えられたご遺族に案内状を送付し、事前予約をお願いしております。

《活動内容》

第一部

■和(なごみ)の時Ⅰ

〈参加条件〉

葬儀を終えて1年以内の方

〈内容〉

専門家による講演

■和(なごみ)の時Ⅱ

〈参加条件〉

どなた様でも参加できます。

〈内容〉

専門家による講演と座談会

第二部

■話(はなし)の時

〈参加条件〉

和の時ⅠまたはⅡに一度でもご参加いただいた方

〈内容〉

小グループに分かれての座談会

〈参加時のルール〉

(1) その場で話された内容は外に持ち出さない。

(2) 内容を記録(録音やメモ等)に残さない。

(3) 他人を否定、中傷するようなことは言わない。

※ファシリテーター(話をスムーズにする専門家)がグループにつき1名参加します。

平成30年度より、時間に変更になっています。お間違えの無いようお気を付けください。

- 和の時Ⅰ 11:00～14:00
- 和の時Ⅱ 11:00～13:00
- 話の時 11:00～13:00

開催区分	開催日時	時間	お申込み締切
和の時Ⅰ	11月7日(水)	11:00～14:00	10月31日(水)
和の時Ⅱ	11月18日(日)	11:00～13:00	11月8日(木)
話の時	12月22日(土)	11:00～13:00	12月12日(水)
和の時Ⅰ	H31年2月12日(火)	11:00～14:00	H31年2月2日(土)
和の時Ⅱ	H31年2月18日(月)	11:00～13:00	H31年2月13日(水)
話の時	H31年3月25日(月)	11:00～13:00	H31年3月15日(金)

※会場は江古田斎場です。

●開催スケジュール

各行事に関するお問い合わせ・お申込みは、巻末の渉外部連絡先までお電話ください。

東京福祉会からのお知らせ

展示相談会のご報告

東京福祉会では、お盆とお彼岸(春・秋)の計三回、江古田斎場にて合同法要を行っております。

その際、弊会の取り扱ったご葬儀の事例や実際に使用している祭壇、また会葬返礼品やお仏壇、お線香などをご覧いただけるよう、展示相談会を同時開催いたしております。

7月の展示相談会では、約200名の方々にお越しいただき、特に背景パネルを使用した生花祭壇についてのご質問を多くいただきました。壁掛け式などコンパクトなデザインのお仏壇や、お菓子の香りのするお線香など、現代ならではの商品にも注目が集まっていたようです。また、展示と並行して行われたご葬儀についてのセミナー(30分程度)も、ご好評をいただきました。



今回は、5ページに記載の通り、9月の秋季彼岸会での開催となります。

実際の祭壇を確認しながらのご相談も承りますので、是非お立ち寄りください。

事前相談のすすめ

生前に葬儀について話すことは「縁起でもない」と言われ、タブーとされてきました。

しかし最近は、事前にある程度知識を得ておいたほうが、もしもの時の後悔やトラブルが発生しにくくなり、ご本人やご家族がゆっくりとしたお別れの時間を過ごすことができることから、相談件数は増加しています。

東京福祉会では、もしもの時の予備知識として、あるいは「何をしてあげたいか」「その人らしいお別れのために、どんなことができるのか」という想いをかなえるお手伝いとして、事前相談を承っております。

- ・もしもの時に備えて用意しておくもの
 - ・祭壇や金額、場所など
 - ・知人への連絡方法
- その他、お客様のご質問に真摯に対応いたします。下記フリーダイヤル、またはホームページより、お気軽にお問い合わせください。

資料請求

ご葬儀に関する詳しい資料(料金、式場等)をご用意しています。下記連絡先までお気軽にご請求ください。

- ① 葬祭料金のご案内
(近親葬のご案内含む)
- ② 道灌山会館限定プランのご案内
- ③ ホール多摩国立限定
シルクフラワー祭壇のご案内
- ④ ご火葬のみプランのご案内
- ⑤ 道灌山会館のご案内
- ⑥ 江古田斎場のご案内
- ⑦ ホール多摩国立のご案内
- ⑧ 聖恩山霊園のご案内
- ⑨ 会友制度のご案内
- ⑩ エッセイ集 響の縁



お問い合わせ・お申し込み

〈電話〉 ☎0120-00-5677 東京福祉会 渉外部

〈E-mail〉 info@fukushikai.com

〈URL〉 <http://www.fukushikai.com>

東京福祉会

検索



「東京福祉会だより(響)」は再生紙を使用しています。